安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト　（ＳＤＳ）

１．化学品及び会社情報

化学品の名称：可剥性プラスチック塗料
製 品 名　：ラスパック（アルコールタイプ）青
推奨用途と使用上の制限：金属の防錆樹脂コーティング。

会 社 名　：株式会社　オーデック
住　　所　：〒141-0022　東京都品川区東五反田 3-14-13　高輪ミューズビル
担当部門　：金属表面処理事業部
電話番号　：03-6447-7461
FAX 番号　：03-6447-7405
E-mail　：info@audec.co.jp
作成日　：2012 年 2 月 13 日
改訂日　：2022 年 8 月 23 日

２．危険有害性の要約

【ＧＨＳ分類】　※区分に該当しない(分類できない)、分類対象外は省略

引火性液体	：区分２
自然発火性液体	：区分に該当しない
急性毒性－経口、経皮、吸入	：区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	：区分２
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分２Ａ
生殖毒性	：区分２
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：区分１(中枢神経系、全身毒性)、区分３(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：区分１(血液系)、区分２(呼吸器、肝臓、脾臓)

【絵表示】

【注意喚起語】
危険

【危険有害性情報】
・引火性の高い液体および蒸気
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
・臓器の障害のおそれ(中枢神経系、全身毒性)
・呼吸器への刺激のおそれ
・長期にわたる、または反復ばく露による臓器(血液系)の障害
・長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器、肝臓、脾臓)の障害

【注意書き】

《安全対策》

・熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
・容器を密閉しておくこと。
・容器を接地しアースをとること。
・防爆型の電気機器、換気機器、照明機器を使用すること。
・火花を発生させない工具を使用すること。
・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
・取扱い後は手をよく洗うこと。
・使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

《応急措置》

・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。接触部位を流水またはシャワーで洗うこと。
・火災の場合：消火するために「５．火災時の措置」に記載された消火剤を使用すること。
・皮膚についた場合：多量の水で洗うこと。
・皮膚刺激が生じた場合：医療処置を受けること。
・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。
・ばく露またはその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。
・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・気分が悪い時は、診察を受けること。

《保管》

・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
・施錠して保管すること。
・容器を密閉しておくこと。

《廃棄》

・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有率 %	CAS RN	官報公示整理番号	ＰＲＴＲ	備考
イソプロピルアルコール	40～50	67-63-0	2-207		
ウレタン樹脂	20～30	非公開	7-857		
イソブチルアルコール	10～20	78-83-1	2-3049		
青色染料	<1.0	非公開	既存		

４．応急措置

吸入した場合　：被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、保温・安静にし、必要に応じ医師の診断を受けること。
呼吸が不規則または止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、直ちに医師の手当を受けること。嘔吐物を飲み込ませない様にすること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴などを速やかに取り除き、製品にふれた部分を大量の水及び石鹸水で充分に洗浄すること。溶剤・シンナーは使用しない。
皮膚等に変化が見られたり、炎症を生じた時には直ちに医師の手当を受けること。

眼に入った場合　：直ちに清浄な流水で１５分以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受けること。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼すること。
すぐに痛みが無く視力に影響が無くても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合　：意識のある場合は、吐き出させずに水で口の中をよく洗い、直ちに医師の手当てを受けること。意識のない場合は、口から何も与えず、嘔吐物を飲み込ませない様にし、直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護：適切な保護具(保護眼鏡、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を十分に行う。
に必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項：情報無し

５．火災時の措置

適切な消火剤　：粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール泡消火剤、水噴霧

使ってはならない消火剤：棒状注水

特有の危険有害性：引火性の高い液体であり、高温にさらされると容器が破損する可能性がある。

特有の消火方法　：周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器の破損が生じないように注水し、冷却する。
過熱により容器から内容物が噴出した場合は、可能ならば容器を熱源から遠ざけ、大量の水を注水して冷却し、噴出が納まるのを待ち、消火活動を行うこと。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：熱分解などにより一酸化炭素や有害な炭化水素などの有毒ガスが発生するので、適切な空気呼吸器や化学用保護衣を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：漏れた付近の周囲から人を退避させるとともに、風下の人を退避させ、火災・爆発の危険を警告すること。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、適切な消火剤を用意すること。
屋内の場合は処理が終わるまで通風等により換気をよく行うこと。
作業者は保護手袋、保護眼鏡、保護服、保護マスクを着用すること。

環境に対する注意事項：流出した内容物が河川等に排出されない様に注意すること。
漏出物を直接、河川や下水に流さないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて、密閉できる空容器に回収すること。
大量の流出には盛り土で囲って流出を防止すること。
作業には火花を発生しない用具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。
付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止策：特に無し。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：比重の重い成分が底に溜まっていることがあるので、使用前に十分に撹拌し均一にすること。
皮膚・眼・粘膜との接触を避け、蒸気、ミストなどを吸入しないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護服、保護マスクなど適切な保護具を着用すること。
火気を使用している室内で使用しないこと。火気厳禁。
冬場など冷えた製品を暖かい場所ですぐ開封すると、結露で劣化することがあるので、必ず使用場所の温度になじませてから開封すること。

安全取扱注意事項：容器の転倒、落下など衝撃を加えないこと。
換気の良い場所で使用すること。
狭い室内や車内では使用しないこと。
直射日光の当たる場所に放置しないこと。
人体に使用しないこと。
用途以外には使用しないこと。
その他、表示された使用上の注意を守ること。

接触回避：混触禁止物質を同じ場所で取り扱わないこと。

衛生対策：情報無し

保　管

安全な保管条件：直射日光の当たらない涼しい場所で、蓋を密閉して、施錠して保管すること。
換気の良い所に保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。
その他、表示された保管上の注意を守ること。

安全な容器包装材料：情報無し

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度：

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm、980mg/m^3(最大、2021年版)	200ppm、492mg/m^3 (2015年版)
ウレタン樹脂			
イソブチルアルコール	50ppm	50ppm、150mg/m^3(2021年版)	50ppm、152mg/m^3 (2015年版)

設 備 対 策：屋内作業場での使用の場合は、ガス検知器を設置し、局所排気装置等を設置すること。
長時間取り扱う場合、吸排気が十分にとれ暴露を受けない設備にすること。
換気扇や各種電気設備には防爆構造のものを用いること。
取り扱い場所の近くには、安全シャワー、手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明瞭に表示する。

保 護 具　　：呼吸用保護具；有機ガス用防毒マスク
手の保護具；保護手袋(有機溶剤用)
眼の保護具；保護眼鏡(側板付きまたはゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具；保護服(長袖)。必要に応じて、保護前掛け、保護長靴。

９．物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	青色
臭　い	有機溶剤臭
融点/凝固点	情報無し
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報無し
可燃性	可燃性
爆発下限界及び 爆発上限界/可燃限界	下限　2vol% 上限 12vol%(ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ)
引火点	11.7℃(ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ)
自然発火点	情報無し
分解温度	情報無し
ｐ　Ｈ	情報無し
動粘性率	情報無し
溶解度	情報無し
n-ｵｸﾀﾉｰﾙ/水分配係数	情報無し
蒸気圧	情報無し
密度及び/又は相対密度	0.840（20℃）
相対ガス密度	情報無し
粒子特性	情報無し

１０．安定性及び反応性

反応性　　：通常の使用・保管条件では反応性無し。
化学的安定性　　：通常の使用・保管条件では安定。
危険有害反応可能性：強酸化剤や高温の表面との接触、火花または裸火により発火。
避けるべき条件　：高温へのばく露。強酸化剤との接触。静電放電などの着火源。
混触危険物質　　：強酸化剤。
危険有害な分解生成物：熱分解や燃焼によりシアン化合物、イソシアネート、窒素酸化物、一酸化炭素、樹脂モノマーなどの有毒ガスやヒュームが生成する可能性あり。

１１．有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	LC50R	皮	眼	感	変	発	生	単	反	誤
イソプロピルアルコール	4384	12870	68.5mg/L/4H	外	2				2	1&3(気)	1&2	
ウレタン樹脂												
イソブチルアルコール	2460	2460	19.2mg/L/4H	2	2A					3(気&麻)		

※略記号(データ及びＧＨＳ区分)
LD50 口：経口(主としてﾗｯﾄ)mg/kg、LD50 皮：経皮(主としてｳｻｷﾞ)mg/kg、LC50 吸：吸入(主としてﾗｯﾄ)ppm、皮：皮膚腐食性／刺激性、眼：眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性、感：感作性(呼：呼吸器、皮：皮膚)、

変：生殖細胞変異原生、発：発がん性、生：生殖毒性、単：特定標的臓器毒性(単回ばく露)(気:気道刺激性、麻：麻酔作用)、反：特定標的臓器毒性(反復ばく露)、誤：誤えん有害性、外：区分に該当しない
※区分に該当しない(分類対象外)、分類できないは省略

１２．環境影響情報

生態毒性　：イソプロピルアルコール；EC50>1000mg/L/48H(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ)(環境庁生態影響試験(1997))
　イソブチルアルコール；EC50=1250mg/L/24H(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ)(EHC65(1987))
残留性・分解性　：イソプロピルアルコール；BOD 86%(既存化学物質安全性点検データ(1980))
生体蓄積性　：情報無し
土壌中の移動性　：情報無し
オゾン層への有害性：情報無し

１３．廃棄上の注意

残 余 廃 棄 物　：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。
汚染容器及び包装：同上。

１４．輸送上の注意

国 際 規 則　：航空輸送はＩＡＴＡ及び海上輸送はＩＭＤＧの規則に従う。
国 連 番 号　：ＵＮ １２６３
国 連 品 名　：塗料(PAINT)
国 連 分 類　：Ｃｌａｓｓ ３（引火性液体類）
容 器 等 級　：ＰＧ Ⅱ
副次危険性等級　：非該当
海洋汚染物質　：含有なし
国 内 規 則　：陸上輸送；消防法、労働安全衛生法等の輸送について定めるところに従う。
　海上輸送；船舶安全法の輸送について定めるところに従う。
　航空輸送；航空法の輸送について定めるところに従う。
　緊急時応急措置指針番号；１２８

１５．適用法令

消防法　：危険物第４類第１石油類非水溶性(指定数量２００Ｌ)
労働安全衛生法　：
施行令第１８条(名称等を表示すべき危険物及び有害物) イソプロピルアルコール、イソブチルアルコール
施行令第１８条の２別表第９(名称等を通知すべき危険物及び有害物) プロピルアルコール、ブタノール
施行令別表第１(危険物) 引火性の物
特定化学物質障害予防規則；非該当
有機溶剤中毒予防規則；第二種有機溶剤；イソプロピルアルコール、イソブチルアルコール
化学物質による健康障害防止指針；非該当
化学物質管理促進法：指定化学物質リスト(ＰＲＴＲ法) 非該当
毒物及び劇物取締法：非該当
航空法　：施行規則第１９４条　航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示別表第１ 塗料
船舶安全法　：危規則告示別表第１ 塗料又は塗料関連物質（ペイント、ラッカー、エナメル、ステイン、シェラック溶液、ワニス、つや出し液、充てん液、ラッカーベース液、シンナーを含む。ただし、備考の欄の規定により当該危険物に該当しないものを除く。）

大気汚染防止法　：第２条
(揮発性有機化合物）イソプロピルアルコール、イソブタノール等
(有害大気汚染物質）非該当
施行令第１０条(特定物質）非該当
水質汚濁防止法　：
施行令第２条(有害物質）非該当
施行令第３条 第１項１２号など
施行令第３条の３(指定物質）非該当
土壌汚染対策法　：施行令第１条(特定有害物質）非該当

１６．その他の情報

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。
注意事項は、通常の取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、取り扱い願います。

引用文献等

(独)製品評価技術基盤機構公表ＧＨＳ分類結果
ＩＣＳＣ国際化学物質安全性カード